

連携機関ご紹介コーナー

医療法人社団 沢崎外科・デイケアさわさき

理事長 澤崎 晋一 shinichi Sawasaki
(安芸高田市医師会 元医師会長)

昭和43年4月 / 久留米大学医学部卒業
広島大学麻酔科入局・原医研外科入局・
日赤病院外科勤務
昭和52年7月 / 開業

趣味・健康法

- 釣りが「もし釣りが仕事の妨げになるのなら、仕事の方を諦めなさい」(釣りの名言集より) 今や私はこの心境です。
- ストレスをためない。



毎日の診療で大切にされていることは何ですか

患者さんに優しく親切に対応し自分の限界を知って、紹介等、色々な事を含めて、患者さんにとって最善と思われる方法を常に考えて診療する事。

自院のやりがいは何ですか

かかりつけ医として親近感を持って、距離感の無い相談しやすい医者として患者さんを診療したり、紹介したりして病状が改善して感謝された時。

JA吉田総合病院に望むこと

地域の中核病院として安芸高田市医師会も協力しますので、休日・夜間24時間、救急医療体制を現状維持して頂きたい。出来れば全科が対応出来る二次救急指定病院を希望します。

Interview

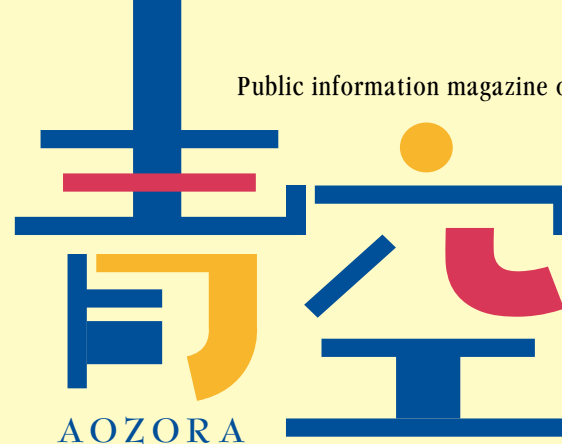


医療法人社団 沢崎外科・デイケアさわさき

住 所 安芸高田市吉田町吉田695-1

開 院 昭和52年7月

標榜科 外科・胃腸科・麻酔科・肛門科



やさしい心で
良質な医療を。

夏号

vol.50

JA吉田総合病院

発行/広島県厚生農業協同組合連合会 吉田総合病院
〒731-0595 広島県安芸高田市吉田町吉田3666
Tel.0826-42-0636 Fax.0826-47-0007
2016年(平成28年)6月発行
http://yoshida-gene-hospi.jp/

Facebookを開発しました



地域の「医療・介護・福祉」を守るために

地域医療連携室 部長 宮田 康史



「超高齢化社会」を迎え、人口減少と少子高齢化が急速に進み、持続可能な医療保険制度の確保が大きな課題です。とりわけ当地域のような地方では、その傾向がさらに強く、地域医療の存続のための対策として、「地域包括ケアシステム」の構築が叫ばれています。

〈地域包括ケアシステム〉

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「住まい・医療・介護・予防・生活支援」が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を実現していきます。

地域包括ケアシステム推進のために、まず各地域の現在ある医療・介護・福祉の資源(種類、機能、受け入れ能力等)を調査し、また同時に各地域の需要も調査します。そして、その地域で充足しているものと不足しているものを洗い出し、不足しているものへの転換を促します。そのためには、これまでのように個々の病院、施設で完結しては駄目で、各地域で補完しながら完結させるシステムを構築していかなければなりません。

医療も地域の一員として「治す医療」だけでなく、「支える医療」も求められます。当

院でも、平成26年12月に急性期病棟47床を「地域包括ケア病棟」に転換し、リハビリによる在宅復帰機能の強化、超急性期病院から自宅退院に向けての受け入れ、在宅・施設で生活されている患者様の急性増悪時の受け入れ、介護者が疲弊している際の受け入れ(レスパイトケア)に力を入れております。また、今年5月からは3床増床し50床としました。

地域包括ケアシステムをはじめ、国は様々な方策を練っておりますが、「超高齢化社会」は急速に進行しておりますので、入院できる病棟のベッド数は今後必ず不足してきます。その代替として在宅(介護療養施設を含む)で、足りないベッドを補おうとしております。病状が悪い時のみ入院し、改善すればまた住み慣れた在宅で過ごすというサイクルが、今後の流れになっていきます。その流れを進めていくためには、「チーム医療の推進」「多職種連携の取り組み」「安心できる在宅療養の確保」が必要です。

「チーム医療の推進」

医師・看護師だけでなく、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、社会福祉士など多くの専門職が協力し、退院後の生活を見据えて治療方針を考えていきます。

「多職種連携の取り組み」

退院後の患者様が、快適に不自由なく

在宅で療養するために、病院だけでなく、かかりつけ医師、訪問看護、ケアマネジャー、各介護サービス業者などの多職種と、場合によっては行政とも連携し、情報を共有し対応します。

「安心できる在宅療養の確保」

患者様・ご家族様が安心して在宅で過ごすことができるように、急性増悪時にすぐに診察が可能な体制をつくります。これは「生活の場」としての介護療養施設に入所の方も同様です。様々な条件を整えば、在宅、施設での看取りも可能になってまいります。

当院では「地域包括ケアシステム」構築を目指して、平成25年度より、様々な関係団体様のご協力を得ながら「在宅医療・介護連携推進事業」を進めております。

昨年度は、専門職を対象として「認知症・食べること・地域包括ケアシステム」についての多職種合同研修会、一般市民の方への啓発として「看取り」についての市民公開講座を開催いたしました。

平成28年度も、医療・介護・福祉・地域の連携ネットワーク作りと市民啓発のために、様々な催しを開催してまいりますので、ぜひご参加いただき、安心して住みやすい地域づくりのために、皆様のご意見をお聞かせいただければと思います。今後ともご協力の程よろしくお願いたします。

参考 / 中協・平成28年度診療報酬の基本方針 厚労省・地域包括ケアシステム実現へ向けて

基本理念

1. 私たちは何人にも平等に医療を提供します。
2. 私たちは地域の基幹病院として、最良の医療を提供します。
3. 私たちは納得と同意のもとに信頼される医療を提供します。

基本方針

1. やさしい心で安全・良質な医療・保健・福祉サービスを提供します。
2. 医療を受ける人びとの人格、権利を尊重し、全ての人に貢献します。
3. 生涯学習の精神を葆ち、知識と技術の習得に努めるとともに、医療の質向上に尽くします。
4. 努力と強調で健全経営に努め、明るい職場をつくります。
5. 病院の公共性を重んじ、事業を通じて地域に尽くすとともに、法規を遵守します。

防火防災訓練を実施しました

震度6強の地震発生!・火災発生 [3月17日(木)]

東日本大震災から5年を迎え、当院でも震災時の入院患者様の安全確保・避難誘導・危機管理を徹底するため避難訓練を行いました。



午後2時、広島県に震度6強の地震が発生の設定にて3階病棟で訓練を行いました。

病棟科長を中心に、地震発生後、素早く患者様の安全確認、施設の被災状況の確認、ライフラインの確認、安全な避難経路の確認を行い速やかに本部に報告。指示待ちの間も定期的に病室を廻り、重症者の確認に努めました。



その後、給湯室より火災が発生、初期消火実施と同時に本部へ応援依頼。本部より消火班が現場にて消火対応しました。その後、負傷者に対して速やかに救護班に連絡、搬送を行いました。

参加者は訓練とは思えない程真剣に取り組み、落ち着いて1つ1つ行動手順を確認しながら、患者様の安全第一のために訓練を実施しました。

また、各病棟科長も訓練を見学し、地域の中核病院として当院全体で情報共有に努め、今後も患者様の安全確保に努めていきます。



平成28年度からの

新任医師紹介! NEW FACE



内科

石飛 朋和 Tomokazu Ishitobi

 旧任地▶中電病院 10年卒
 趣味▶サンフレッチェ観戦

広島大学消化器代謝内科出身、三次地区医療センター、庄原日赤、中電病院で勤めてきました。前病院では消化器の中でも、肝胆膵内科治療を中心にしておりました。特に、肝疾患・胆膵疾患領域で地域に貢献できればと思います。



内科

山田 貴弘 Takahiro Yamada

 旧任地▶呉共済病院 25年卒
 趣味▶旅行

この度、内科に赴任しました山田と申します。広島市で生まれ育ち、安芸高田市に来るのはこれが初めてですが、早速きれいな空気と温かい人柄に触れ、今後の生活に期待を膨らませています。よろしくお願いいたします。

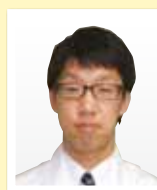


内科

前田 憲志 Kenshi Maeda

 旧任地▶広島大学 26年卒
 趣味▶釣り

吉田町は初めてですが、歴史好きなので毛利元就ゆかりの地に赴任できて、嬉しく思っております。皆様に貢献できるよう、日々精進して参りますので、よろしくお願いいたします。



内科

明石 裕貴 Yuki Akashi

 旧任地▶県立病院 26年卒
 趣味▶バスケットボール

医師3年目の明石です。内科医としてスタートを切ったばかりで右も左もわからぬ未熟者ですが、一刻も早く地域に貢献できるように日々精進していきたいと思っております。



精神神経科

竹下 理 Osamu Takeshita

 旧任地▶県立病院 23年卒
 趣味▶サッカー、ダイビング

精神科の竹下と申します。研修医も含めまして5年間、県立病院に勤務しました。吉田総合病院は、閉鎖病棟を有する地域の拠点病院ですので、より一層努力していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



精神神経科

川下 芳雄 Yoshio Kawashita

 旧任地▶呉医療センター 24年卒
 趣味▶ネットショッピング

4月より吉田総合病院に配属になりました川下と申します。安芸高田市を訪れるのは初めてですが、地域に根差した病院で、患者さんの為に一生懸命頑張りたいと思っております。よろしくお願いいたします。

INFORMATION お知らせ

院内掲示物の募集

院内通路に写真、絵などを掲示しております。掲示できる物がございましたら、地域医療連携室へご連絡いただければと思います。

院内ボランティア募集

院内で軽作業をお手伝いして下さるボランティアを募集しております。ご興味のある方は地域医療連携室までご連絡をお願いいたします。

病院機能評価を受審しました



このたび当院は、(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価(3rdG ver1.1)を受審し、平成28年4月1日付で認定病院として更新いたしました。

この病院機能評価についてご説明いたしますと、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動が適切に実施されているかどうかを評価する仕組みです。

全国には8,485の病院がありますが、約3割の2,225病院がこの病院機能評価の認定を受けています。そのうち広島県内では2016年4月7日現在で、当院を含め76ほどの認定病院があります。

認定審査は、事前の書面審査と評価調査者(以下、サーベイヤー)による訪問審査がおこなわれます。サーベイヤーは中立・公平な立場から病院全体の運営管理および提供される医療について、現状確認や病院スタッフと意見交換をおこないながら所定項目を評価し、病院の質改善に向けた活動を支援します。

その評価基準については、医療環境や社会の変化、病院のニーズ等に応じ、適宜改定されバージョンアップしています。これまで当院は、より質の高い医療の提供と地域における

役割そして利用者からの期待に応えられるよう、様々な活動に取り組み、改善等を図って参りました。今回も第三者による助言や評価を受けることが有用であると考え、3つの機能種別(一般病院1・慢性期病院・精神科病院)について受審しました。

今回認定となりましたが、より良い医療の実現のために、引き続き改善活動に取り組み、基本理念にも謳っておりますように地域の基幹病院として最良の医療、そして納得と同意のもとに信頼される医療をこれからも提供出来るよう努めてまいります。



主たる機能：一般病院1



副機能：慢性期病院



副機能：精神科病院

平成28年度 糖尿病教室のお知らせ

健康な生活を送るために、みんなで糖尿病のことを勉強しましょう! どうぞお気軽にご参加ください。



受講対象者

糖尿病患者様とその家族

日時

毎月第1と第3火曜日(1クール2回) 午後2時~4時

第1回	4月5日・19日	第7回	4月5日・19日
第2回	5月10日・24日	第8回	5月10日・24日
第3回	6月7日・21日	第9回	6月7日・21日
第4回	7月5日・19日	第10回	7月5日・19日
第5回	8月2日・16日	第11回	8月2日・16日
第6回	9月6日・20日	第12回	9月6日・20日

場所

JA吉田総合病院 健康管理センター運動栄養指導室(南館2階 健康管理センター内)

参加費

- 当院に受診されている方…約1,200円(保険適用)注)負担割合で金額が変わります。
- 当院に受診されていない方、他院から紹介の方…1,200円(診療報酬改定に伴い、今年度より参加費が変更となります。また、1クール中1日のみ参加された方への返金はできません。ご了承ください。)

内容

1 日 目	糖尿病ってこんな病気!【医師】	(30分)
	知って得する薬の話(糖尿病編)【薬剤師】	(30分)
	トイレ休憩と質問コーナー	(5分)
2 日 目	検査値を知ろう!【検査技師】	(20分)
	食品交換表と食事プラン【管理栄養士】	(30~40分)
	糖尿病の運動療法【理学療法士】	(30分)
	足を守って快適な生活を!【看護師】	(30分)
	トイレ休憩と質問コーナー	(5分)
外食とおやつについて【管理栄養士】	(30~40分)	
これからの生活習慣を考えてみよう【保健師】	(20分)	

お問い合わせ

- 当院の外来・入院の方…主治医へご相談ください。
- 上記以外の方…地域連携室までご連絡ください。(TEL.0826-42-0669)